

情報工学実験Ⅰ (Experiments in Information Engineering I)		2年・通年・2単位・必修 情報工学科 担当 井上一成，松尾賢一，内田眞司	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (2)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕教育目標	〔JABEE 基準〕	
〔講義の目的〕 工学実験の進め方を体験し，実験報告書の書き方を学ぶ．			
〔講義の概要〕 アナログ回路とデジタル回路に関する基礎的な実験を行う． CASL シミュレータによるアセンブリ言語の習得と基本的なプログラミングを行う．			
〔履修上の留意点〕 全てにおいて受身でなく，能動的に準備，実験に取り組むこと． (例：事前に実験テーマの予習をしておく．)			
〔到達目標〕 ・工学実験の基本的な進め方を理解し，標準的な工学実験報告書が作成できる．(全週) ・基本的なアナログ回路および基本的なデジタル回路の設計・製作および計測機器による動作チェックができる．(6～20 週) ・アセンブリ言語である CASL を用いて基本的なプログラム作成およびデバッグができる．(20～30 週)			
〔評価方法〕 1 テーマ当たりの点数は，実験報告書および実験に対する取り組みに対して，それぞれ 100 点満点で採点する． 点数に対して，実験報告書を 60%，実験に対する取り組みを 40%で評価する． 総合成績は，全テーマの評価の平均とする． (a) 実験報告書が未提出のとき，そのテーマの評価は，実験報告書および実験に対する取り組みの点数を 0 点とする． (b) 実験報告書が期限遅れのとき，そのテーマの評価は，実験報告書に対する評価のみとする．(実験に対する取り組みは評価しない)			
〔教科書〕 情報工学実験Ⅰ 指導書 (全体ガイダンスで配布する．)			
〔補助教材・参考書〕 アセンブリ言語および CASL シミュレータの補助テキストを後期ガイダンスで配布する．			
〔関連科目〕 情報リテラシ，デジタル回路，論理回路，コンピュータシステム概論 回路理論Ⅰ，情報工学実験Ⅱ			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	全体ガイダンス	情報工学実験の目的, 概要, 進め方	
第2週	実験リテラシ	実験報告書の書き方	
第3週	実験リテラシ	同上	
第4週	実験リテラシ	同上	
第5週	実験リテラシ	同上	
第6週	アナログデジタル実験	アナログデジタルに関する実験	
第7週	アナログデジタル実験	同上	
第8週	アナログデジタル実験	同上	
第9週	アナログデジタル実験	同上	
第10週	アナログデジタル実験	同上	
第11週	アナログデジタル実験	同上	
第12週	アナログデジタル実験	同上	
第13週	アナログデジタル実験	同上	
第14週	アナログデジタル実験	同上	
第15週	アナログデジタル実験	同上	
第16週	アナログデジタル実験	アナログデジタルに関する実験	
第17週	アナログデジタル実験	同上	
第18週	アナログデジタル実験	同上	
第19週	アナログデジタル実験	同上	
第20週	プログラミング実験	C A S L プログラミングに関する実験	
第21週	プログラミング実験	同上	
第22週	プログラミング実験	同上	
第23週	プログラミング実験	同上	
第24週	プログラミング実験	同上	
第25週	プログラミング実験	同上	
第26週	プログラミング実験	同上	
第27週	プログラミング実験	同上	
第28週	プログラミング実験	同上	
第29週	プログラミング実験	同上	
第30週	プログラミング実験	同上	

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)